

## 世界で一冊の絵本を子どもに

### 手作り絵本講座

手作り絵本講座が5月9日、中央公民館で始まりました。より絵本に親しみ、世界で一冊の絵本を作ってもらおうと14年前から行われているこの講座。講師の図書館友の会「絵本もここ」の加藤美智子さんが「だれかに作ってあげたいという気持ちが大事です」と説明した後、15人の参加者は、8ページの絵本作りに挑戦。初めて参加した主婦の一人は「作った絵本を自分の子どもに読んで聞かせてあげたいわ」と愛情を込めて絵本作りに励んでいました。



## 秋の収穫が楽しみ

### いもの苗さし

打越保育園父母の会では、親子で自然に親しみ、園児に秋の収穫への期待を持ってもらおうと、毎年いもの苗さしを行っています。今年は5月7日にさんさんの郷で実施し、園児とその親30組が参加。園児たちは、お父さんやお母さんと助け合いながら、270本の苗を丁寧に植えていました。園児の一人は「いもができるのが楽しみ」と秋の収穫を心待ちにしている様子。また母親の一人は「植物の大切さや成長を感じてもらえたら」とほほ笑んでいました。



## 楽しんでウォーキング

### 三好路を歩こう

身近で手軽な「歩く」運動を通して、健康・体力づくりをしようとして、5月11日、「三好路を歩こう」が開催されました。コースは、三好丘の北井山公園から、愛知池を経由して、三好ヶ丘駅を目指す16・3キロ。106人の参加者たちは、会話をしながら、マイペースでウォーキングを楽しんでいました。参加者の一人は「普段からよく歩いています。初めての場所を歩くのは、いろいろな発見があって楽しいですね」と息を弾ませていました。



## 助けあってつなげたたすき

### 塩の道リレーマラソン

三好走ろう会が、5月3日から4日まで、町内から長野県下諏訪町の諏訪大社までの209・8キロのリレーマラソンに挑戦しました。これは、今年で20回目となった三好池桜マラソンの開催を記念して行われたもの。29人が2人1組で交代して走り、44力所の中継点でたすきをつなげました。見事完走した走ろう会の高梨生馬会長は「よくこの長丁場を走り抜いたと驚いています。会員相互の草の根の協力が成功につながりました」と喜びの表情を浮かべていました。



## 作品を使うのが楽しみ

### 陶芸教室

より多くの人に陶芸に親しんでもらおうと5月8日、中央公民館で陶芸教室が始まりました。愛知県陶磁資料館の陶芸指導員を講師に迎え、6回シリーズで行われるこの教室。手びねりや絵付けによる作品づくりをします。11人の参加者は、まず茶わんの底に付ける輪状の台である高台作りに挑戦。先生の作った見本を参考に、作品を丹念に作り上げていました。参加した女性は「難しいけれど、自分の作ったものを使うのが楽しみです」とねん土をこねていました。



## 里山を生かすために

### 里山保全ボランティアリーダー養成講座

自然の保全活動を行うみよし里山もり隊が主催して、里山保全ボランティアリーダー養成講座が5月16日に始まりました。これは、里山への理解を深め、保全活動を進めるリーダーを養成するもの。23人の参加者は、岐阜大学の林進教授から講話を聞いた後、三好丘陵地でフィールドワークを実施。ツツジなどを観察しながら、植物の生態や森の仕組みについて学びました。参加した女性は「自然環境の奥深さを知りました」と里山への関心を深めている様子でした。

